

事業所名

放課後等デイサービス 森のほたる

支援プログラム

作成日

2025年

1月

7日

法人（事業所）理念		愛ある療育で子どもたちに笑顔と幸せを。遊びから学び、学びから成長そして自立への喜び。							
支援方針		「一人一人の個性を伸ばす」「子どもたちの可能性を育てる」「想像力を豊かにする」 臨床美術プログラムを取り入れた療育を行い、脳の活性化、感性の目覚めや回復をサポートします。							
営業時間		9時	00分	から	18時	00分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 手洗いやうがい等の衛生面、挨拶の必要性のように、日々の生活で疎かになりがちな事柄をチェックしながら確実に実施できるように支援します。 調理実習の活動により食物や調理器具の扱い方、栄養のバランスを学びます。また、準備と片付けの大切さも身につけていきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 臨床美術を筆頭に、創作活動に携わることで感性を豊かにして発想力を高めていきます。 普段触れることのない画材や道具を使用することで、手先の器用さだけでなく応用力も身につけます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> タイムスケジュールや活動内容の視覚化で自主的な行動力を養い、見通しに対する不安を軽減します。 施設に着いてからの荷物の片づけや提出物、宿題の確認のように、個々のルーティーンを決めておくことで行動の円滑さや漏れの防止に繋がります。 創作活動では、課題の見本や工程を見た上で、完成形をイメージしながら手順を進める経験を積んでもらいます。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 完成させた美術作品に対しての評価を受ける時間を設け、特徴や表現力等の個性や成長している変化を具体的な言葉で得ることで、次回以降のやる気に繋がります。 帰りの会や活動の説明時において、一方的に情報を与えるだけでなく、集団の中でも自分の思いや考え、疑問等を発言できる機会を設けることで対話する意識を強化します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動や外出の機会では、グループ分けやペアを意図的に作ることで他者を支える気持ちを養います。 物の貸し借りや順番が発生する場面では、トラブルを未然に防ぐ配慮や、考え方や気持ちのコントロールの仕方を学んでもらいます。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族の要望を聞き取り、宿題の進め方や優先度、昼食やおやつに関する好き嫌いの対応等、思いに沿えられるようにします。 日々の活動報告や自由時間を過ごしている様子を写真で閲覧できるようにしています。 							
移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 本人が社会との関わり方について主体的に選択するために必要な知識や力をつけられるよう、帰りの会や活動の説明時に参考となる情報を得られる機会を設けています。 学年や学部が変わるような環境の変化に伴うトラブルを未然に防ぐことができるよう、学校や家族との情報共有や意向の確認を密に行います。 							
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 祝日や長期休暇中には自然と触れ合う外出、金銭のやり取りのある買い物、ボランティアの受け入れ等、地域資源を活用する機会を定期的に計画します。 							
職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> AED講習や虐待防止研修、安全運転講習等、定期的に外部研修を行い、職員のスキルアップや意識の向上に努めています。 							
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 『七夕会』『秋の遠足』『ハロウィンパーティ』『クリスマス会』『調理実習』『お買い物練習』『お買い物実践』『シェイクアウト訓練』 							